



栄光の銅メダリスト

円谷幸吉

幸吉選手は、1964年に開催された東京オリンピックのマラソン競技で銅メダルを獲得し、当時低迷していた日本陸上競技界の救世主となりました。
1983年から始まった「円谷幸吉メモリアルマラソン大会」では、多くのランナーが市内を駆け抜けます。近年では、本市出身のランナーが国内を飛び越え世界の舞台でも活躍するなど、幸吉選手のレガシーが今もふるさとの人々に受け継がれています。



特撮の神様

円谷英二

英二監督は、若かりし頃から撮影技術の研究に励み、1963年には株式会社円谷特技プロダクションを設立。人々の娯楽として定着し始めていたテレビに怪獣を登場させ、日本中に“怪獣旋風”を巻き起こしました。
英二監督が生まれ出し、1966年に放送が開始された「ウルトラマン」は、55周年を迎えた今でも、世代を超え世界中の人々に愛されています。

■「二人の円谷」顕彰事業

わたしたちの誇るべき「二人の円谷」



企画政策課 ☎(88)9131

本市には、郷土の偉人であり、市民の誇りでもある「二人の円谷」がいます。一人は「特撮の神様」と称される円谷英二監督、もう一人は1964年東京オリンピックマラソン競技銅メダリストの円谷幸吉選手です。今年、英二監督の生誕120周年であるとともに、東京2020オリンピックの開催により「二人の円谷」にこれまで以上に注目が集まっています。

飛行機に憧れた少年が特撮の世界へ

飛行機への強い憧れ
英二監督は、飛行機乗りになることを夢見る少年でした。15歳のときに上京し就職しますが、飛行機への憧れを捨てきれず、1カ月で会社を辞め、羽田の日本飛行学校に入学してしまうほどでした。偶然の出会いで映画界へ
入学した日本飛行学校が閉鎖となり、英二監督はやむなく神田の電機学校に入学します。数年後、偶然出会った撮影技師長・枝正義郎の勧めで

映画会社に入社。映画人としての第一歩を踏み出します。
その後は、特殊撮影技術や技法の創意工夫を重ね、日本映画界に「特撮」の礎を築きました。
前を向き「忍耐」の言葉を胸に世界へ
厳格な父の教え
幸吉選手が小学生のとき、運動会でキョロキョロと後ろを振り返って走っていたため「振り返るのは自信がないからだ。堂々とやって勝て」と父親に叱られたそうです。そのような父の教えが、国民を感動させたオリンピックでの激走につながったのかもしれない。

「忍耐」の言葉を胸に

幸吉選手は、色紙にいつも「忍耐」の二文字を書いていました。常に走ることを楽しんでいて幸吉選手でしたが、苦しいときにはこの二文字を胸に、その苦しさを乗り越えたそうです。真つすぐで誠実な性格とひたむきな努力が、世界と戦うランナーへの成長につながりました。

「二人の円谷」を称えて

市の誇りである「二人の円谷」の功績を市民の皆さんと称えるため、年間を通して事業を展開しています。市シタイプロモーションの一環として取り組む「二人の円谷」顕彰事業を通して、市民のシビックプライドの醸成や市の認知度向上につなげていきます。



円谷幸吉メモリアルホールが生まれ変わります

円谷幸吉メモリアルホールの改修

展示スペースを拡張し、内容をリニューアルします。また、幸吉選手が東京オリンピックで獲得した銅メダルをはじめ、貴重な資料を良質な状態で後世に継承するため、展示資料の劣化対策を行います。

10月中旬に再オープンを予定しており、改修による休館期間中は、須賀川アリーナ1階で仮設展示を行ってまいります。

仮設展示 9月30日(木)まで
午前9時～午後5時
※月曜日休館

ウルトラマンへの手紙

ウルトラマン55周年特別企画として、ウルトラマンへの手紙を全国から募集し、15



ウルトラマンはどんな返事をくれるのでしょうか？

70通が集まりました。集まった手紙はウルトラの父に贈呈し、ウルトラマンの元へ届けてまいります。手紙を出してくれた人には、ウルトラマンから返事が届きます。 ※募集は終了しました。

テレビ番組制作・放送

二人の功績とともに、市の魅力ある文化・観光スポットなどを紹介するテレビ番組



サークル「シュワッチ」代表 山田 和由 さん

英二監督を通して 須賀川を自慢して欲しい

英二監督の顕彰を中心としたまちづくりをしたいという思いから、サークル「シュワッチ」を立ち上げました。「いつでも、どこでも、ウルトラマンに会えるまち」をモットーに、文化センターでのウルトラヒーローショーや、ウルトラマンたちとの握手会を開催しています。

今後は街中にあるモニメントや、円谷英二ミュージアム、特撮アーカイブセンターなどの施設を活用したイベントを企画して、皆さんにもっと英二監督のことを伝えていきたいです。



今後は街中にあるモニメントや、円谷英二ミュージアム、特撮アーカイブセンターなどの施設を活用したイベントを企画して、皆さんにもっと英二監督のことを伝えていきたいです。

私の目標は、市内の子どもたち全員に英二監督のことを知ってもらうことです。子どもたちが進学や就職などで県外に出たときに、英二監督を通して自分たちの街を自慢して欲しいですね。

私と「二人の円谷」

須賀川市に生まれ、活躍の場を広げていった英二監督と幸吉選手。二人の魅力や意志を後世に伝えているお二人に話を聞きました。



幸吉選手に続くようなランナーを育てたい
平成23年にクラブチームを設立し「楽しく走れば速くなる」をスローガンに、小・中学生に走ることに楽しさを伝えていきます。

幸吉選手のようなランナーを育てたいという思いから「円谷ランナース」と名付けさせてもらいました。今回の東京オリンピックに出場する相澤晃選手をはじめ、優秀なランナーたちが育ってくれます。

幸吉選手は、私の実業団選手時代の目標でもあり、東京

オリンピックが開催された1964年生まれ、須賀川高校の後輩でもある私にとって、運命的なヒーローです。今では、第二の幸吉選手育成に携わっているということもあり、大きな存在です。

幸吉選手がコーチと一緒に笑顔で写っている写真を見ると、きっと楽しんで走っていたのだと思います。これからの楽しさを伝えつつ、幸吉選手に続くようなランナーを育てていきたいです。



円谷ランナース 代表 水野 武 さん

二人の円谷を知る「福島・須賀川市めぐり」を制作・放送します。

放送日時 ●全国放送 BS-TBS JNNふるさと紀行 7月4日(日) 午前10時～10時54分 ●県内地上波 テレビユー福島 7月11日(日) 午後3時～3時54分

名誉市民章の授与

偉大なる功績を残した本市出身の英二監督と幸吉選手を須賀川市名誉市民に推戴します。

授与式は「特撮の日」と幸吉選手の東京オリンピックでのゼッケンナンバー「77」にちなみ、次のとおり開催します。

日時 7月7日(水) 午前10時
会場 tette1階「たいまつホール」

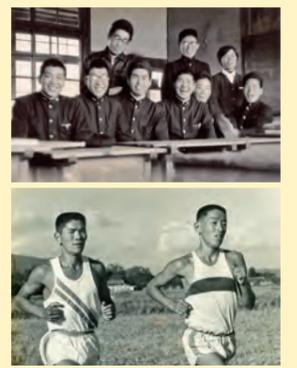
※授与式には一般の人は出席できません。

関連イベント

●円谷幸吉写真展

日時 7月4日(日)～19日(月)
午前9時～午後6時
会場 tette1階「ルーム1-1」

内容 これまで未公開の学生時代や練習風景の写真など、幸吉選手の素顔がよみがえります。幸吉選手の盟友で、メキシコシティオリンピックマラソン銀メダリストの君原健二さんの資料も展示し、二人の友情の物語もご覧いただけます。



●tetteスクール特別講演会「二人の円谷」

日時 7月31日(土) 午前10時
会場 tette1階「たいまつホール」 定員 60人
講師 元市博物館長 安藤清美さん
※事前申込(整理券配布)